

一般質問

(質問した順番で記載します。)



藤原 覚議員

1 国保事業の一元化はいつ、どのように任期中に結論を出す

問 国民健康保険事業の一元化は一部事務組合への合流か組合からの脱退か、二つに一つの選択肢しかない。従って常識

論からすれば、7月に国保統合担当者を置いた時点で速やかに一元化の方向を示し、個別、具体的な事務処理を担わせるのが本来の姿だ。

しかし未だ町長は明確な方針を示していない。これは深い思慮と高度な政治判断に基づいてのことか。

町長の任期は残り一年半だ。この任期中に結論を出し、確固たる筋道を付けるのが町長の責務ではないか。

答 国民健康保険事業の運営実態を分析するとともに、事業の広域化等に関する国の方向性や県の指導も視野に入れ、担当者に調査検討させている。

県においても積極的に支援するとの確約をいただきたいところである。今後一部事務組合との関係も含め、深い思慮と政治判断を要求されることを十分認識し、慎重に

進めていく。当然任期中に決着を付ける。

2 急傾斜事業を県から市町村へ

県当局に意見具申し検討したい

問 町内各所で実施されている急傾斜事業で最近様々なトラブルが発生し、事業主体である県によって事業が縮小されたり、計画が白紙に戻されるのではないかとといったケースが多発している。

答 地域と非常に密着した事業だけに町の職員が地元調整をし、工事の円滑な完了のため指導監督している。

この事業は自治事務に含まれていて、県知事会の一部では市町村に権限委譲してはという流れも出始めているが、いくつかのハードルを越えなければならぬ。今後県の幹部や担当の砂防課に意見具申するとともに、時間を要する案件であるだけに今一度勉強したい。

町の重要施策として、引き続き積極的に事業を推進していく上からも、地域の事情に精通し、住民と深い結び付きを持つ市町村が代行することによって諸問題は解決し、メリットも大きい。

議会を見学して
傍聴感想文

—美山中学校三年生—



本物の議会を見て、思ったことは、議員の質問はほとんどの議員が自分の地元の事に関する質問でした。水道設備についての事とかサルが畑を荒らしているから、どうにかしたいなどでどれもこれも、地元を思う気持ちのものばかりだと思いました。

再質問もそれを深めようとするもので、ぼく達の体験した議会とは全然ちがいました。

議会を見て日高川町の議会を知ることが出来てよかったです。



山本 喜平議員

1 低空飛行の観測体制の確立とオレンジルートの廃止要求を

情報収集に努め、飛行停止を求めている

いるオレンジルートを米軍機が低空飛行訓練を行っている。しかし、以前より市町村の観測体制が弱くなっているのか、県当局の把握している飛行回数は極めて少ない状況である。

低空飛行の観測体制を確立すべきではないか。

県土上空を低空飛行するオレンジルートは廃止するよう要求すべきではないか。

答 四国の愛媛県から和歌山県にかけて、いわゆるオレンジルートという飛行ルートがあり、美山地域の上空がそのルートとなっているようだ。事実、本町住民から米軍機の低空飛行の目撃情報がある。県危機管理局に直接あったと聞いている。

問 ひとつは、飛行高度も高くなっているようだが、依然として樺山ダムを通過ポイントとして



オレンジルート通過ポイント（樺山ダム）

後情報収集に努め、飛行停止を求めている所存だ。

2

地域交流センターの備品整備と施設維持管理体制および経費について

維持管理に見合う収入ができるよう最大限努力する

問

備品整備費用は、建築入札差額で賄えるのか。

中津公民館の体制で行うとのことだがやりきれぬのか。人員補充は必要なのか。

施設の維持管理は、

いのか。

年間維持管理費約1700万円とは多額な経費である。町財政への圧迫とはならないのか。

答 入札差額の1億2390万円で賄えるのは、補助対象の舞台照明、音響設備、吊物機構、屋外附帯工事となる。したがって補助対象外の備品整備には充てられない。

中津公民館に比べ面積が大きく、地域交流もあり、2名体制ではかなり厳しいと予想している。

平成20年4月1日の人事異動時に職員体制を考慮したい。

地域交流センターの位置づけは、教育と文化・交流活動の拠点施設である。営利を目的とする施設ではない。利用度が高いほど光熱水費が高くなるのは当然だ。維持管理に見合う収入ができるよう、最大限に運営活用する努力をしていく。

ぼくは今回、初めて議会を見に行きました。

議場に入ってまず最初に、議場が広いことに驚きました。議員や他の役職の人も多く、傍聴席で聞いているだけなのに少し緊張しました。

それから議会を見る時に、議会傍聴規則があるのを知り、何かすごいと思いました。

今回議会を見に行き、少し退屈だったけど、めつたにない、良い経験になったと思います。

本物の議会は、ぼくたちがやった模擬議会とは全然雰囲気が違ったのでちょっと緊張しました。

それぞれの議員さんは自分の地元の事を中心に質問していました。なんかすごいなあと思いました。議員のみなさんは地元を思う気持ちが強いことがわかりました。

あとの一つの質問が長かったような気がしました。

3 学童保育の要望調査の実施を

川辺西小校区の実施状況を見ながら、他校区のニーズ把握へ

ら、他校区のニーズ把握に努めていきたい。町単独となると、財政的な負担も大きくなるので、国庫補助や少なくとも県費補助対象となる人数が確保できることを条件に取り組んでいきたい。

3

問 10月1日から、かわべ西学童クラブが開設され、本町でも学童保育が実施されることとなった。

町内の他校区での要望調査と学童保育実施の方針は持っていないのか。

答 町内で最大の規模校である川辺西小学校校区でモデル的に実施した上で、保護者の反響や入所状況を見極めなが

4 AED(自動体外式除細動器)を学校などへ設置を

学校や各施設からの要望はないが関係機関と調整したい



かわべ西学童クラブ(川辺西小学校内)

すべきではないか。

答 AED(自動体外式除細動器)は、心肺停止状態から蘇生に、だれでも安全に、簡単に使用できることから、大変有効な機器として、平成16年7月に、厚生労働省が一般人の使用を認めたことにより、体育施設

問 AEDを学校、保育所、体育施設、社会教育施設、保健医療施設、観光施設などに設置

すべきではないか。スポーツやイベントなどへの貸出しもできるようにすべきではないか。

答 AED(自動体外式除細動器)は、心肺停止状態から蘇生に、だれでも安全に、簡単に使用できることから、大変有効な機器として、平成16年7月に、厚生労働省が一般人の使用を認めたことにより、体育施設

た。

学校等には、県が高校ではスポーツクラブなど激しいスポーツによる心肺停止を想定して配置しているようだが、市町村では、小中学校に配置しているのはごく僅かようだ。

答 今のところ小中学校や各施設からの配備の要望もないが、イベント等に貸し出すという考えも普及と合わせて効果的な方

や、多くの人が集まる駅やショッピングセンターなどに設置普及がすすんでいる。本町も以前に議会で、各消防団に配置した。最近、寒川診療所にも購入し

法だ。関係機関と調整を図っていきたい。

こんな経験ができてとてもよかったと思います。

僕は、本物の議会を見て、思ったことは議会議場は広く、色々な議員さんがいました。

実際に議会がはじまると、議員さんたちはとてもまじめで静かでした。難しい部分もたくさんありましたが、議員さんは地域のことで一生懸命でした。議員さんで知っている人が何人かいてよかったです。

僕は、この議会を見に行つてとてもいい経験をしました。ふだん見ることのない議会を見られてよかった。数年後、僕もこの場に立ちたいです。

僕は、初めて本物の議会を見ました。議場に入ったときから、何か雰囲気の違いがありました。僕は座っているだけなのに、すごく疲れました。

本物の議会は、自分達でやった模擬議会とは

5 住宅用火災警報器の設置義務化への対策について

設置助成はしない。悪質商法被害防止の啓発に努める

問 消防法が改正され、住宅用火災警報器の設置が義務付けられた。障害者世帯や高齢者世帯への設置支援策は考えていないのか。

答 設置義務化の周知と悪質商法への対応を町民に知らせる取り組みが必要ではないのか。

答 住宅用火災警報器

の設置は、平成18年6月1日の消防法改正により、新築住宅はすでに設置が義務化され、また既存住宅についても、5年間の設置猶予期間が設けられている。

火災報知器の設置義務化は個人の財産、生命を個々に守っていくということなので、助成することとは考えていない。特別な障害がある方については、別個に福祉施策がある。ただ、設置を促進する必要があるので、区長や消防団、あるいは広域消防にも協力いただいで、啓発に取り組み。

悪質商法への対応は、日高広域消防で発行している消防新聞や、ケーブルテレビ、各戸への回覧等で周知に努めている。また10月の町広報に注意を促す記事を掲載する予定だ。今後適時、被害防止の啓発に努めたい。



火災警報器

1 中津小中学校 新校舎建設に向けて

期が煮詰ってから用地を確保して良いのではないかと考えている



林 睦二議員

問 「中津村小中学校統合推進委員会」の答申内容について現時点の考

えは。

新校舎建設予定地に古墳群が広がっていると云うことだが、県の調査と今後の予定はどうなのか。

合併前に新校舎の用地取得のための「基金」を積み立てている。

できるだけ早い時期に用地の先行取得を地域は

熱望している。

町長の政治的判断を問う。

答 新校舎の建設場所は高津尾地内と確認している。

財政事情等が許される限り、速やかに新校舎建築に着手するよう要望すると云っている。

古墳群については、すでに県文化財課の仮調査

を終えている。建設予定

図面ができた時点で、その箇所のみを極めて狭い調査区域で終わるよう調査を実施して参りたい。

用地の先行取得については、もう少し期が煮詰ってから必要とする用地を確保して良いのではないかと考えている。



旧高津尾小学校

やっぱり全然違って、とても良い経験になりました。

本物の議会は模擬議会とは、比べ物にならないなと思いました。生で見ることで、議会の進め方がよく分りました。進め方は分りましたが、内容はほとんど分りませんでした。議会の部屋に入るのも、初めてだったのでいい経験になったと思います。あとは、議会でも模擬議会の時と同じように、質問をまとめた紙があるとは思っていませんでしたので驚きました。

議会を見たのは初めてでした。しゃべったらダメだと言われていたので緊張しました。難しい感じであまり分らなかつたです。テレビで見てるような状況だったので良かったです。町のためにがんばっていました。議会は大変だと思いました。あまり見る機会がないので見られて良かった

2 地域格差について

行政を預かる者の
責任として解決していく

ような格差が生じていると認識しているのか。

安全で安心して暮らせる地域をつくるために、どういった視点から見つめられ、どのような計画でこの問題の解消に取り組んでいくのか。

答) それぞれの集落間においては生活基盤等の整備状況の違いがある。地理的、社会的、歴史的条件が異なるため、地

域からの要望事項も多岐に及んでいる。

短期間にこれらの違いを解消していくことは難しいが、行政を預かる者の責任として解決していかなければならない。

様々な地域からの要望に応えるために、合併後の過疎計画や産振計画で順次事業化していきたい。

は安心して暮らして行けない。昨年の暮れに水をあてに行つて谷底に転落し大怪我を負う事故が起きた。一日も早く整備して欲しい。

答) 美山では初湯川、上初湯川、寒川の残った地域が水道整備が急がれているところであり充分承知している。有利な補助事業の採択にと、「元

業」について協議して来た。この事業は他のハード事業も盛り込まなければならず事業費が大きく膨れ上がった。事業採決基準を逸脱しない範囲で水道事業のみに縮小出来ないか、他の補助事業はないか検討している。痛ましい事故が発生している事でもあり早期整備に全力を挙げて取り組んで行く。

1 美山地域水道施設の早期整備を

早期整備に全力を挙げて
取り組む



山口 武議員

問) 水道施設の整備については3月定例議会で

も取り上げられ、町長からは諸般の事情で遅れているが出来るだけ早期に取り組むとの事であった。未整備の地域では特に高齢化が進み管理もままならない。増水時には水質汚濁等健康への影響も懸念される。町財政の好転を待っている住民



水道施設未整備の寒川地区

です。

私は今回初めて、本物の議会を傍聴しました。議会を傍聴して、日高川町はこんな風にして作られているんだ、と思いました。議員さん達は皆、自分達の地域を良くしようと発言をしています。私なら、地域のため何をする方がいいのかすら、分らないと思います。だから、議員さんはすごいと思いました。

今回議会を傍聴するという、普段ではないような体験をできたのでとても良かったと思います。日高川町の政治のことも、前より興味を持つことができました。

今回、初めて日高川町の議会が見られてよかったですと思います。もう二度と見られないかもしれない議会を生で見られて本当にいい体験ができたと思います。

私達も一度議会のまねをして質問したりしてい

問) 最近、特に「格差の是正」ということがクローズアップされている。

「国と地方」の問題、「都市部と地方」、「地方間」格差など、さまざまである。

私は地方議員という立場で、日高川町内の「地域間格差」を問うものである。

現在、各地区間にと

2 紀州材の家づくり支援事業を本町でも取り入れては

他自治体の動向を参考にしながら
前向きに検討する

平成20年4月1日には日高川町森林組合が誕生するがそれにタイミングを合わせて実施してはどうか。

答 紀州材の家づくり支援事業は和歌山県の木材を使った木造住宅の建築促進により林業や木材産業を活性化し、森林の健全な育成をはかろうとするものである。建築主に対し県が20万円を上限に補助金を交付するものであり、昨年度は県全体で332件の申請があったと聴いている。

問 和歌山県が実施している紀州材の家づくり支援事業は多くの森林面積を占める「木の国和歌山」にとってすばらしい事業だと思つ。日高川町は面積の90%を森林が占めており林業は基幹産業の一つである。林業の振興と住みよい町づくりのために本町でも紀州材の家づくり支援事業を取り入れてはどうか。

問 和歌山県が実施している紀州材の家づくり支援事業は多くの森林面積を占める「木の国和歌山」にとってすばらしい事業だと思つ。日高川町は面積の90%を森林が占めており林業は基幹産業の一つである。林業の振興と住みよい町づくりのために本町でも紀州材の家づくり支援事業を取り入れてはどうか。



瀧口 俊和議員

1 有害鳥獣被害対策について

狩猟に必要な費用の軽減措置等、
県に要望して行く

に狩猟免許を取ってほしい。そのためにも免許取得者に毎年必要な登録料の半分を助成してはどうか。また猿の檻の復活を（山中に縦横10mの檻）してはどうか。

を凶る事も重要である。捕獲と電気柵等の被害防止も必要な状況であることから、狩猟者の町助成については今後検討していきたい。また猿の檻については設置要望があれば補助対象に含める検討をしたい。

2 河川改修工事はもつと魚介類にやさしい環境作りを

生態、生息環境を十分把握して人工的な改変を極力少なくする

問 河川改修工事のほとんどがブロック積みである。これでは魚介類は住む事は出来ない。全国的に見ても環境にやさしい工法がもちいられていないが、和歌山県及び日高川町は大変これに遅れているように思う。たとえは魚巢ブロックとか、蛇籠による改修工事は考えられないか。

「美しい山河を守る災害復旧」基本方針が策定され、現在は生態生息環境を十分に把握して実施する事になっている。魚巢ブロックについては生態生息環境を十分に考慮しながら多種多様な工法が必要であると考えている。また蛇籠については現地調査等を踏まえ、流水に対する安定と被害の規模等を十分勘案

問 最近、猿、鹿、イノシシあるいはアライグマ等の被害が非常に多くなつて来ているが狩猟者は減る一方だ。多くの人が

答 平成10年6月に

被害の規模等を十分勘案

ました。進み方はまったく同じでした。でも私達よりもスムーズで何回も質問したりして迫力のあつた。内容は私にとって理解しにくい所などありましたが、旧美山村の今後をどうしていくかなど質問をしていました。

今回の議会は正直少し退屈なところはあつたけど、実際質問している所や町長さんが答えている所を見られてよかったです。またこのような機会があれば見たいと思つています。

私は初めて本物の議会を傍聴しました。議会室はとても緊迫感あふれていました。始めに、山口武さんという美山の議員さんが意見を提案していました。私たちは先日旧美山の議会室で模擬体験してきましたがまさにそのままでした。議員さんは町長さんに一生懸命訴えていました。そしてその意見も通りました。



して蛇籠の使用も考えて 行きたい。

自然環境に配慮した河川工事（玄子地内）

1 遊休町有財産の有効利用について

調査をし有効利用したい



堀 辰雄議員

問 誰がいつ見ても簡単にわかる、主だった町有財産をきちんと調査整理しておくべきではないか。
答 町が取得した土地については、取得の段階

ではそれぞれの目的をもって購入しているわけだが、取得後さまざまな事情で活用されない用地もある。今後、町有地を調査し、有効活用していきたい。

2 決算報告書のあり方について

民間会計のやり方を導入していきたい



遊休町有地

問 国からも「民間の会計制度が優れているからなるべく使用するよう」と出ているのであれば、町としても早く導入すべきではないか。
答 平成18年度に総

務省から地方公会計改革で示されており、日高川町も「和歌山県市町村公会計改革研究会」に入り、担当者レベルにおいて月1回のペースで勉強しているところである。

とても貴重な体験でした。

私は、議会をしている所を見にいった。中に入ると大勢の人達が座っていて、すごく緊張した。イスに座って、議会が始まった。議会がはじまって1時間位たった。お尻が痛いし、議会の話をまじめに聞こうと思って聞いていたけど眠くなって、何を話しているのかわからなくなった。そして、ようやく議会が終わった。

議会を見るのは初めてでした。議会を見に行く前の金曜日に、私達で模擬議会をしたのでどういうものかは分かっていました。が、いざ議会の傍聴してみると、言葉では言い表せないすごさがありました。知らない言葉聞き慣れない話し方のおかげ、少々議会の内容が分かりませんでした。私達がやった議会と同じにしてはいけない気もする

3 町職員による町活性化について

十分検討していきたい

問 今、日高川町は大まかにいって貯金は35億円、借金は240億円、年間の予算は100億円、職員は240人、返済金は年24億円となっている。

答 職員について100人程多いのではないかとはいわれている中、職員のためにも税収増のアイデアを出させるべきではないか。

答 今までは合併による内部事務の充実に力を

入れてきたが、これからは地方分権改革にも対応していきたい。

できるだけ取り組んでい

1 玄子く中津川地区に至る県道改修促進を

県に要望を上げて取り組みたい！



議員 地域住民も含めた交通安全対策としての対応が出来ないのか。

答 この区間は川辺インターのアクセス道路であることから、車の通行

るのか。

量も多い。町民はもとより御坊市を含め広域的に利用される重要路線である。

この区間は昭和63年当時、ふるさとづくり特別対策事業で取り組んで来たが用地協力が得られない等の事情で事業が断念されたと聞いている。改修の必要性は認識している。県に対して要望を行いたい。地域住民の皆さん方の御理解と御協力をいただき、事業がスムーズに推進できるように取り組みたい。

問 玄子地内から中津川地区に至る県道玄子小松原線が改修促進され、生活道路として利用している地域住民から喜びの声が出ている。高速道川辺ICから県道御坊美山線玄子地内に至る区間はアクセス道路としても重要なルートであるが改修が進んでいない。この未改修区間の改修計画はどのような状況になってい



県道玄子小松原線（中津川地内）

2 行財政改革の具体的推進を

行革大綱集中改革プランに基づき取り組みを進めていきたい！

問 行革推進本部がまとめた集中改革プランと行革大綱に基づく行財政改革が急務と考えるが、どのような計画で実行されるのか。また、実質公債比率が23・3%で県下ワースト1の対応策をどうするのか。

7月に組織機構改革としてグループ制度を導入したが、どのようなメリット・デメリットが出

けれど、同じように緊張感であふれていました。

正直、分らない言葉が多すぎて、議会を傍聴した意味がないじゃないかと思っていました。でも、今思えば議会を傍聴できたことは、本当に良かったと思っています。

私実際に議会を見て初めに思ったことは、難しい言葉が多いということです。分からない言葉が多くて、聞きとるのでいっぱいいっぱいでした。

町のためにたくさんの方ががんばってくれているという事が分かって良かったと思います。機会があればまた見に行きたいです。良い経験になりました。

初めて本物の議会を見に行きました。私たちは本物の議会を見に行く前に、自分たちで模擬議会をしました。その時やっていたのとでは、やっぱり本物は緊張感があつて

ているのか。住民から苦情等は出ていないのか。

ふるさと振興公社を指定管理者として業務委託し、予算計上しているが、8千万を超えることから、経営努力を求めているのか。

答 本年7月の組織機構改革及び職員数の抑制、公共施設管理運営の見直し、各種イベント等の整理・統合、使料・手数料の見直し等に取り組んでいる。実質公債比率については、償還額よりも借入額を少なくする等の努力を続けていく。

グループ制の導入により、スピーディーで的確な事務処理、良い意味での職員間のライバル意識も現われつつある。

ふるさと振興公社については、人的面、経費面等の改善に向けて色々な関係者と協議し取り組みたい。



龍田 安廣議員

1 町内人口減少対策について

若者に定着してもらうことが一番大事である

問 わが国の人口の自然減少が始まり、中山間地域のわが町としては、なおいつそう深刻となるのは間違いない。町にお



防災無線施設

いては人口減少対策として、少子化対策、企業誘致などあらゆる分野で対策をされていると思うが、その内容を問う。

また以前のような青年団活動がなくなった。若者を対象とした合同見合い(合コン)を実施してはどうか。

町内においてイターン者を受け入れているが問題点はないのか。

答 人口減少の歯止め対策として、若者が定住できる条件整備のために、道路を中心に生活環境整備や生活基盤整備に努めてきたが十分な成果

が上がっていない。妊婦健診や、不妊治療へ助成金を出しているが過疎が解消するに至っていない。今後過疎対策事業の推進を図っていく。

若者を対象とした合コンについては、庁内でテーマとして取り上げ検討する。

7月の機構改革により、イターン希望者の窓口を一元化して受け入れ体制を図っているが、問題点は空き家不足である。

2 防災について

災害時に対応できる体制づくりを努める

問 18年度において多くの災害が生じた。住民の生命、財産を守るためにも行政の指導が大事だ。町の防災組織ができ

すこいなあと感じました。

議員の人達や町長さんは日高川町のために話し合っただけで、いい答えを出していることがわかりました。今回このような体験させてもらってよかったです。

この前、美山中が自分達でやった模擬議会と川辺に見にいった町議会、2つ議会を見たり、聞いたりしました。自分たちでやった方は、シナリオを立てていたので内容が分かりやすかったし、そこまで難しくはなかった。でも川辺の方の本物の議会は、内容が難しく聞きながらメモをとるのが大変でした。話すスピードが速く、あまり分かりませんでした。途中でとても眠くなってしまいました。

話の内容を書いている紙を議会に入る前にもらいましたがその内容も少し難しかったです。でも、とても勉強になった。

ているが、計画案とその内容を問う。

防災無線の町内統一はいつ頃か。また避難場所についての基本的な内容はどうか問う。

答 県と最終協議が終了すれば町地域防災計画が完成する。具体的な内容は、大きく分けて、災害予防、災害発生後の災害応急対応、復旧、復興の内容となっている。

今後は職員の実践演習等の訓練や、自主防災組織の育成など、警察、消防等関係機関とも連絡を密にし、真に災害時に対応出来る体制づくりに努めていく。

防災無線については、電波法で町は一つの電波をもって対応するということから、長期的にまた早期に対応できるように努力する。避難場所については、今回の防災計画の樹立と同時に分かりやすく住民に示す。



原 孝文議員

1 合併記念ふれあい公園建設は不可解だ。小熊集会所の規模は

周辺の活用を見込み、先ず公園を造る。集会所建設はにつまっていない

かったし、新町まちづくり計画にもない、突如として出てきた話だ。

旧3町村の地域審議会の意見を聞く等の手順をふんでいるのか。全体構想も不明確で、本当に合併に寄与するものと言えるのか。

小熊区の集会所建設はその必要性は理解するが、500人規模は大きすぎるのではないか。班

ごとの小さな集会所こそ、住民が望むものと考ええる。

区の要望は「公設民営」ということだが、年間数百万円かかるであろう維持経費や建設負担金の問題について区と協議ができていないのか。

答 矢田財産区の所有地の有効利用として構想されたもので、合併補助金を活用して造成する。



合併記念ふれあい公園予定地

問 すでに測量設計されている合併記念ふれあい公園だが、不可解な点が多い。

合併協議にも出てこない

2 学校の耐震化工事を何にも優先して

最善の努力をしていく

公園機能だけでも多くの町民の利用に寄与するものと考えており、内容をもっと煮詰めたい。

小熊区の集会所は、人口急増地ということでは600m²の建物を考えている。具体的に区と協議できていないが、先ず公園を造り、その一部として次年度以降に建設したい。

問 7月の学校視察で状況の深刻さを痛感して

私達は役場で行われた議会を見学しました。議会で、私達と同じ旧美山村の山口武議員が、旧美山村の水道の事について真剣に質問をしているのを見て、私達が住んでいる地域の事を、こんなにも真剣に考えてくれる人がいるんだと知る事ができました。

議会では、私達の知らない言葉が出てきて、とても難しかったです。本当にいい経験ができたと思います。

社会の授業で模擬議会を体験したり、日高川町の議会を見に行ったりしました。私は、模擬議会で議長という大きな役を任せられました。最初は先生が作った議案を読めばいいだけだと思っていまして、でも実際やってみると、議会を進行していくというとても大切な仕事だと分かりました。いろんなボタンを押したりとても大変でした。議長

いる。

学校は子ども達の心身の発達をうながす勉学の場であると共に、子ども達の昼間の生活、命をおずかる場でもある。

建物の強度に問題があり、耐震化工事が必要となれば、何にも優先して取り組まなければならぬ。財政的にきびしいなかだが、そんなことは言っていられない。町と教育委員会の決意の程を聞く。

耐震化工事への国の補助制度強化や県の制度新設を、あらゆる機関を通じて要請していかなければならないのではないかと。

問 耐震診断結果は年度内にです。対策建築物は何らかの補強工事が必要になってくるものと思う。

答 本町の改修率は11.1%と低いところに位置しており、財政面の壁が立ちほだかっているが、

町の責任は重要かつ重大であり、今後の対策について最善の努力をしていく。

国や県への財政補助強化については、全国的にも動きがあり、郡の教育長会や町村会を通じて働き掛けをしていきたい。

3 合併浄化槽の面的整備を本格的に

基本計画を策定中であり、推進していきたい

3

問

普及率の低い美山・中津地域の整備推進を図っていくため、大字

単位の面的整備に取り組み地域に対しての旧川辺町並補助制度（一戸18万5000円負担）をとり入れていこうという方針でやっているが、各地域の受け入れ状況はどうか。

『日高川』の名称をもちつた町、『川でむすぶ町づくり』を合併のテーマとした当町にとって、日高川の水質浄化は絶対の課題だ。これまでの個人希望による整備方式ですすめるということはならないはずである。

旧川辺町では、町執行部と各区住民が多くの時間と労力をかけて協議の上、水質浄化計画を推進してきたと聞く。それに比べ今の町の取り組みは非常に弱いのではないかと。

答 21年度を目処にした旧川辺方式の推進について、中津・美山地域の区長会で趣旨説明をし、取り組みを願った

が、前向きな回答はまだ無い。機運が高まっていないような感触をもって

町にとって大事なことと思っている。本年度中

4

なぜおくれれているのか コミュニティーバス運行

検討中であり、できるだけ早くできるよう努力する

に町の一般廃棄物処理基本計画を策定することにしており、検討をしているが、推進を図ってきたい。

問

合併後3年度目、他の議員も含めると6年度目の実施の要請となる。

今までの間で、町執行部は事業の必要性を認めて運行実施を約束しているが、状況はどうなっているのか。

地域交通検討委員会を3度開催



定期路線バス

というのは議会がちゃんと進行するようにまとめたりしなければならぬのだと改めてわかりました。

日高川町の議会を見てまず最初に思ったのは私達がやったのと全然違うということでした。議員さん達が言っている事が私達には難しくて全然分かりませんでした。



施が遅れているのか。本当に事業化をする気があるのか疑う。

答 遅れているが、事業化にむけて取り組んでいる。

コミュニティバス運行のみを考えるのではなく、既存の定期バスや通学バスも含めて、総合的により効果的な運行を協議している。

特に毎日利用する高校生などを基本に、バス路

線を幹線と支線に分け、

幹線は最短コース、その他の地域は支線としてコミュニティバス等を走らせられないかといった具体案で検討している。

ただ、御坊南海バスに実施可能かどうかを検証してもらう必要があり、結果待ちになっているが、早急に結論が出るよう急がせ、うまくいけば来年11月からの試行を考えている。

請願・陳情等の審査

文教厚生常任委員会

重度心身障害児（者）

医療費補助金事業において対象外の65歳以上新規透析導入患者への同制度の適用に関して県に対して意見書提出を求める要望

要望者

和歌山市手平5・1・15

前田ビル2階

特定非営利活動法人

和歌山腎友会

理事長 竹内 拓

審査した結果「採択」とすることに決定しました。

重度心身障害児（者）医療費補助制度において対象除外の65歳以上新規透析導入患者に同制度の適用を求める意見書

重度心身障害児（者）医療費補助制度は、重度心身障害児（者）の人たちがその重度障害の故に安定した所得の確保が困難であるとの観点から、安心して受療できるようにとの趣旨で、昭和50年度から和歌山県と市町村が実施している制度である。

ところが、若年のうちに重度心身障害者となった人との生活基盤の状況等に違いがあること及び老人保健法等に基づく他の医療費制度により一定の助成があることを勘案して県要綱が改正され、平成18年8月から65歳以上で新たに重度心身障害者となった人が、本補助制度の対象から除外されることとなった。

しかしながら、自立支援医療などの各医療費制度が改編される中であって、長期にわたり継続的に加療を要する人工透析患者の将来にわたる医療費負担への不安は否めず、これらの障害者にとって、安心して受療できる体制を維持する必要があると考える。

地方分権が進められる中、厳しい財政状況にある市町村にとって、これを単独で実施することは、極めて困難な状況にある。

よって、下記の措置を講じられるよう要望する。

記

重度心身障害児（者）医療費補助制度において対象除外の65歳以上新規人工透析導入患者について、同制度を適用すること。

（提出先）和歌山県知事